

2017年6月6日
NTTコミュニケーションズ株式会社
シスコシステムズ合同会社

「Arcstar UCaaS」のラインアップに Cisco Spark を追加し 企業の働き方改革を加速

NTTコミュニケーションズ株式会社(以下、NTT Com)は、シスコシステムズ合同会社(以下、シスコ)との協業により、チームの作業を効率化するクラウド型コラボレーションサービス Cisco Spark™ ※¹を、ユニファイドコミュニケーションサービス「Arcstar UCaaS」のメニュー「Arcstar UCaaS Cisco Type Cisco Spark (以下、Cisco Spark)」として2017年6月6日より提供します。

また「Cisco Spark」と従来の「Arcstar UCaaS Cisco Type Cisco HCS (以下、Cisco HCS)」※²との連携機能を、2017年6月30日より開始します。これにより、一台の端末(スマートフォンなど)から、「Cisco Spark」と、PBXを介したビジネス用の外線※³・内線の電話を一元的に使えるようになります。

1. 背景

日本に比べてリモートワークの普及が進む欧米では、従来のメールや会議サービスに加えて、よりスピーディーで円滑なコミュニケーションができるコラボレーションサービスの利用が一般的になっています。また近年、日本でも「働き方改革」が推進されており、リモートワークなどの多様なワークスタイルが増加しているため、社外・社内を問わず業務環境の異なる様々なメンバーで協働するためのサービスが必要となってきました。

NTT Com はシスコとの協業により、インターネット上でのチームコラボレーションを可能にする「Cisco Spark」と、日本企業から根強い需要があるPBX機能を備え閉域網上でセキュアに利用できる「Cisco HCS」という特長の異なる2つのサービスを、日本で初めて、クラウドで連携しました。「Cisco Spark」の機動性と、「Cisco HCS」の堅実性・大規模ユーザーへの対応力を組み合わせたサービスを、お客さまの多様なニーズに応じて柔軟に導入可能です。

NTT Com とシスコは、これらのサービスを日本におけるユニファイドコミュニケーションサービス浸透のさらなる契機と位置付け、働き方改革へ貢献します。

2. サービスの特長

(1)プロジェクトごとの進捗管理やコミュニケーションを円滑にし、迅速な意思決定を実現

「Cisco Spark」においては、プロジェクトや案件ごとにバーチャルなワークスペースを作成し、これらのワークスペースごとに、グループチャットやアプリ間通話、ビデオ会議、資料共有など最適なツールでコミュニケーションを取ることができます。

また、ワークスペースでは過去のやりとりや共有した資料が1カ所に時系列で整理されるため、メールによるコミュニケーションでありがちな、過去の経緯が分からない、資料が見つからなくなるといった事態を避けることが可能となります。パートナーなど社外の関係者もインターネット経由で参加できプロジェクトのコミュニケーションが円滑に進み、意思決定を迅速化します。

詳細は[別紙 1]参照

利用画面イメージ



マルチデバイスに対応

動画によるサービス説明

<https://www.youtube.com/watch?v=3kr2RGDixPo>

(2) 「Cisco HCS」とのハイブリッド活用でスピーディーな拠点展開を実現

「Cisco HCS」と「Cisco Spark」の機能を連携することで、「Cisco Spark」利用端末における「Cisco HCS」が持つ外線通話機能^{※3}や内線通話機能の使用が可能になります。

これにより「Cisco Spark」利用端末を「Cisco HCS」の内線番号や0A8~J^{※4}/050番号を持った電話機として利用することが可能になり、社内との内線通話ができるだけでなく、一般の固定電話や携帯電話とも安価な料金で通話できます。

また「Cisco Spark」はインターネット回線があれば容易に導入できるため、新設組織や、グローバルな拠点展開にもスピーディーに対応できます。

詳細は[別紙 2]参照

3. 提供開始日

- ・「Cisco Spark」提供開始 2017年6月6日(火)
- ・「Cisco HCS」との連携機能の提供開始 2017年6月30日(金) (予定)

提供メニューの詳細については、**[別紙 3]**参照。

料金については、NTT Com 営業担当者までお問い合わせください。

4. 今後の展開

NTT Com は、「Cisco Spark」および、「Cisco Spark」と「Cisco HCS」との連携機能について、海外における提供を予定しているほか、Cisco Spark™ Board^{※5}への対応を予定しています。また、同じく Cisco Spark について、同サービスのみで 050 番号による外線通話ができる機能強化を検討します。

今後も NTT Com とシスコは協同して、次世代のコラボレーションプラットフォームを拡充していきます。

5. 両社のコメント

『NTT Com は日本で最初の「Cisco HCS」プロバイダーとして約 10 万人のエンドユーザへ「Arcstar UCaaS」を提供し、日本における UCaaS 市場を牽引してきました。今回「Cisco Spark」をラインアップに加えることにより、より多くのお客さまに UCaaS サービスをご利用いただき、働き方改革の推進に貢献してまいります。』

(NTT コミュニケーションズ株式会社 常務取締役 ボイス&ビデオコミュニケーションサービス部長 丸岡 亨)

『シスコは、働き方改革の支援をビジネスの重点戦略の 1 つに位置づけ、場所や端末に依存しない多様なワークスタイルを可能にするソリューションを提案してまいりました。

豊富な実績をもつ NTT Com の「Arcstar UCaaS」と、使い勝手の良さとセキュアなクラウドコラボレーションサービス Cisco Spark との連携により、コミュニケーションを円滑化し、企業の生産性向上に貢献できることを嬉しく思います。』

(シスコシステムズ合同会社 代表執行役員社長 鈴木 みゆき)

※ 1 : Cisco Spark は、ビジネス用に最適化されたメッセージング(チャット)をはじめ、ビデオ会議などのコラボレーション機能を網羅し、モバイル端末における使い勝手に優れたサービスです。

※ 2 : 旧称は「Arcstar UCaaS Cisco タイプ」。

※ 3 : 「Cisco Spark」と「Cisco HCS」のハイブリッド利用に加え NTT Com の外線通話サービス「Arcstar IP Voice」の契約が必要です。

※ 4 : 0(市外局番の「03」「06」など)から始まり 9 ケタの数字が続く加入電話用の電話番号です。

※ 5 : 「電子ホワイトボード」「ビデオ会議システム」「PC やモバイルデバイスのコンテンツを表示するプレゼンテーション画面」の 3 役を 1 つでこなすオールインワンデバイス。4K の高精細ディスプレイに加えマイクとビデオカメラを搭載しており、Cisco Spark™ Board の

画面に描いたり表示した内容が全て Cisco Spark に反映されます。

Cisco、Cisco Systems は Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

[別紙1] 利用イメージ (「ワークスペース」を使ったコラボレーション)

チームやプロジェクトごとの「ワークスペース」をつくり、メンバー間のコミュニケーション記録を時系列で参照可能です。共有ファイルを探すのも簡単になります。

＜従来のメールによる
コミュニケーションのイメージ図＞

メール

〇〇の件

Re: △△について

Blue Projectキックオフ

Pink Projectの進捗について

Green Projectのスケジュール

Re: Pink Projectの進捗について

Fw: □□ミーティング

Blue Projectお見積り

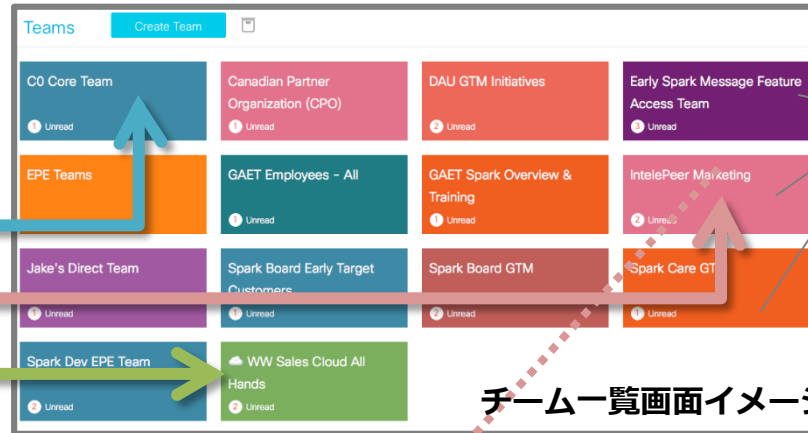
先日のGreen Project

Green Project報告会

シーケンシャルなコミュニケーションで、チームに参加後の情報しか見ることができません

Cisco Spark

チームをつくり、その中でプロジェクト毎にワークスペースを作成
複数プロジェクトがあってもチームの配下でまとめて管理可能

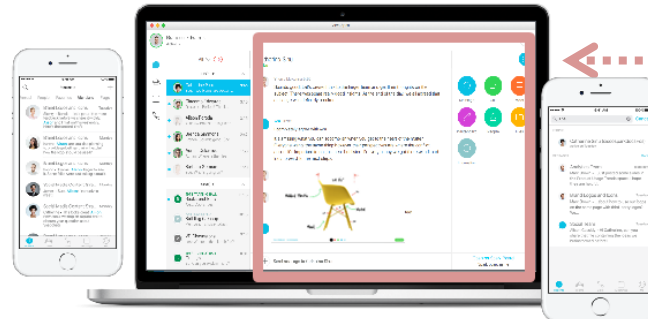


チームごとに色割り当てられるため、簡単に識別が可能

プロジェクト内の共有資料は全て各ワークスペースに格納

チーム一覧画面イメージ

ワークスペースイメージ



ホワイトボードのコンテンツも保存可能



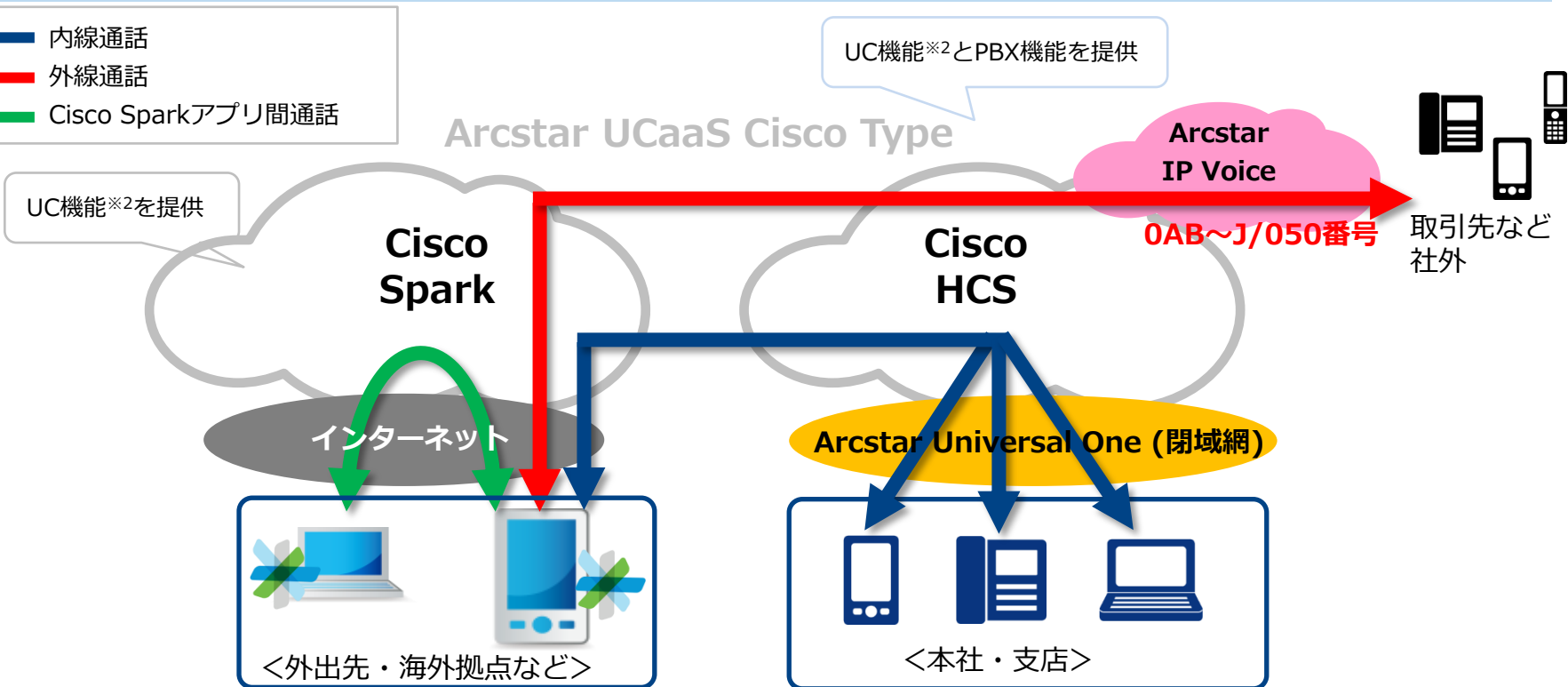
Cisco Spark Board (今後提供予定)

メンバー間のコミュニケーション記録を時系列で参照
共有ファイルもカンタン検索

[別紙2] 「Cisco Spark」 と 「Cisco HCS」 の通話シーン (利用イメージ)

- ◆ Cisco Sparkアプリをインストールした端末(スマートデバイスやパソコン)同士は、「Cisco Spark」のみの利用時でも、アプリ間限定で無料通話可能です。
- ◆ 「Cisco Spark」と「Cisco HCS」のハイブリッド利用時には、アプリ間通話だけでなく内線・外線※1も利用できる電話機として使えます(国内初)。
 - ① 内線番号で、社内と外出先の間でも無料通話
 - ② 0AB～J番号・050番号双方で、お得な料金の外線通話
 - ③ 1人で複数の端末を使っても通話履歴が連動

- 内線通話
- 外線通話
- Cisco Sparkアプリ間通話



※1: 「Cisco Spark」と「Cisco HCS」のハイブリッド利用に加え、別途NTT Comの外線通話サービス「Arcstar IP Voice」の契約が必要です。

※2: 電話・メッセージング・ビデオ会議などを統合したユニファイドコミュニケーションのこと。

[別紙3] 「Arcstar UCaaS Cisco Type」の提供メニュー

Arcstar UCaaS Cisco Type Cisco HCS

閉域網上のセキュアなクラウド型UCサービスです。高度なPBX機能を備えています。

NEW

Arcstar UCaaS Cisco Type Cisco Spark

インターネット上の基盤で提供するクラウド型UCサービスです。
Cisco Sparkのみで利用するプラン(Plus/Advanced/Premium)と、
Cisco HCSとのハイブリッド利用をする場合のプラン(Hybrid Plus/Hybrid Advanced/Hybrid Premium)を提供します。

Arcstar UCaaS Cisco Type サービス

メニュー名

プラン名



メッセージング



ミーティング



ボイスメール



コール



その他

Cisco HCS

プレゼンス機能あり

2人まで

内線・外線発着信数千以上の端末数でも対応
PBX機能

Cisco Spark

Plus (M1)

3人まで

Advanced (M2)

25人まで

—

— Cisco Sparkアプリをインストールした端末同士ではアプリ間通話可能

ホワイトボード機能

Premium (M3)

200人まで
WebExで利用可

Hybrid Plus* (H1)

3人まで

Hybrid Advanced* (H2)

25人まで

—

内線・外線発着信数千以上の端末数でも対応

ホワイトボード機能

Hybrid Premium* (H3)

200人まで
WebExで利用可

— Cisco HCSのボイスメールの呼び出しは可能

Cisco HCS併用時に
Cisco Spark
インストール
端末から使う場合



「ワークスペース」ごとのコミュニケーション管理・ファイル共有機能あり

※ 別途Cisco HCSのお申し込みが必要です。

Copyright © NTT Communications Corporation. All rights reserved.